

# やっぱり必要

最低賃金

# 1,500円



コロナ禍でも賃上げがすすむ欧米や韓国。一方、賃金さがり続けているのは日本だけ。最低賃金と生計費(“普通に暮らす”のに必要なお金)の大きな差が、暮らしを破壊しています。全国一律、最賃1,500円以上の今すぐ実現が必要です。

最低賃金引き上げの署名(裏面)にご協力ください。

FAXで送っていただいても結構です。



## 京都総評

(京都地方労働組合総評議会)

京都市中京区壬生仙念町30-2  
ラポール京都5階

TEL ● 075-801-2308

FAX ● 075-812-4149

E-mail ● sohyo@labor.or.jp

京都総評

YouTube



Web署名も実施中!



# 20代

京都で「普通に」一人暮らしをするには

月 24万円 時給 1,600円 以上必要



お昼には500円のコンビニ弁当。

“リアル”な現実

京都の最賃937円  
1日8時間、月22日

164,912円!

働いても7.5万円以上足りない!!

ぜいたくしなくても、これだけ必要!

“普通の暮らし”にはお金が足りないから、みんなが何かをガマンしている。しかし、7割の人がしていること・持っているものは、ガマンしないでいいなら「したい」「ほしい」。そんな、けっしてゼイタクでない、どちらかといえば質素な“あるべき”“普通の暮らし”に必要な金額を積み上げました。

京都総評2019年最低生計費試算調査より

あるべき“普通の暮らし”にかかる額

生計費結果 20代単身世帯/男性	
居住面積(賃貸)	25㎡
A 消費支出(1~10)	178,390
1 食費	44,441
2 住居費	41,667
3 光熱・水道	7,419
4 家具・家事用品	3,836
5 被服・履物	5,921
6 保健医療	1,137
7 交通・通信	18,612
8 教育	0
9 教養娯楽	27,510
10 その他	27,847
B 非消費支出	49,595
C 予備費	17,800
最低生計費(税抜き) A+C	196,190
D 同上(税込み) A+B+C	245,785
同上(税込み) D×12	2,949,420

駅から自転車ですぐの古い1Kマンション。本当はオートロックの部屋に住みたいなあ…。

仕事に着ていくスーツは18,800円で2着。4年間着るので1カ月あたり783円。



カットやパーマは3カ月に1回。1回8,000円だから、月に2,667円。

たまには友達とショッピングしたり、デートもしたいよね(月8,000円計上)。

自転車は10,800円のを2年乗る。月に450円。車なんて、とてとても…。

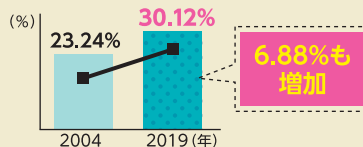


## 最賃UPへ“本気の”中小企業支援が必要!

「従業員の生活は守ってあげたい。でもこのままでは経営が…」経営者の葛藤も深刻です。いまこそ政治の責任で働く者も、事業主も支える「本気の」支援が必要です!

### 社会保険料事業主負担の減免

中小企業にとって、社会保険料負担が重くのしかかっています。



当面、事業主負担の半額免除を求め、免除分を賃金支払いに回せるようにします。

消費税を当面5%に



個人消費喚起のため、消費税の減税を求めます。当面5%とすることを求めます。

最低賃金の  
もともと低い!

沖縄 [那覇市]

生活に必要な 1,642円 | 246,316円  
最低賃金 820円 | 123,000円

必要なお金は

全国どこでも変わらないのに

地域でこんなに違う

最低賃金

(全国の労働組合がとりくんだ) 最低生計費調査より

大阪 [大阪市]

生活に必要な 1,633円 | 244,951円  
最低賃金 992円 | 148,800円

最低賃金の  
もともと高い!

京都 [京都市]

生活に必要な 1,639円 | 245,785円  
最低賃金 937円 | 140,550円

東京 [北区]

生活に必要な 1,664円 | 249,642円  
最低賃金 1,041円 | 156,150円

(※月150時間換算)

最低賃金は2021年10月~

いまこそ“全国一律”の最賃制度が必要!

# 最低賃金1,500円への引き上げと 中小企業支援策の抜本改善を求める請願

京都労働局長 様

2022年 月 日

## 【請 願 趣 旨】

日本はこの20年間、OECD諸国が賃金を上げていく中でも、賃金の下がる国となっています。1997年と2020年の実質賃金の比較で、韓国157.3%、スウェーデン141.5%、フランス131.8%、アメリカ122.7%と賃金が上がっているのに対し、日本は88.9%と1割も下がっています。平均賃金も年間約423万円で、OECD加盟35か国中の22位にまで順位を下げています。

今こそ、最低賃金の引き上げを行い、個人消費の拡大を通じた経済再建を進めることを経済対策の根幹に据えることが求められています。

京都総評が発表した最低生計費試算調査で、20代の若者が京都で一人暮らしをしながら「普通に暮らす」ためには、生活費として月額24万円以上、時間額1,600円以上が必要であることが明らかになりました。

しかし、今の京都府最低賃金は時間額937円です。これでは、月収16万円・年収195万円程度(月173.8時間で換算)にしかならず、現行の最低賃金では、到底“普通”に暮らすことはできません。今こそ、誰でも、どこでも時間額1,500円以上にすることが求められています。

最低賃金引き上げと同時に、中小企業に対して賃金引き上げの環境整備として、生産性を要件としない助成金制度や社会保険料の事業主負担の軽減などの抜本的支援策を至急講じることや予算の大幅増額が不可欠です。

以上の趣旨により、下記事項の実現にご尽力いただくよう請願いたします。

## 【請 願 事 項】

1. 京都府最低賃金を時間額1,500円以上に引き上げること。
2. 最低賃金引き上げを前提とした中小企業支援について、賃上げを実施したすべての企業が直接的な助成を受けられる制度となるよう、抜本的な制度改善と大幅な予算増額を行なうことを本省に上申すること。

氏 名	住 所

※ご記入いただいた個人情報は、請願目的以外には使用しません。

[ 取扱団体 ] 【